

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公開番号】特開2002-122894(P2002-122894A)

【公開日】平成14年4月26日(2002.4.26)

【出願番号】特願2000-348854(P2000-348854)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/21 (2006.01)

G 0 2 B 5/26 (2006.01)

G 0 2 B 5/28 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/21

G 0 2 B 5/26

G 0 2 B 5/28

G 0 2 F 1/1335 5 2 0

G 0 9 F 9/30 3 7 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月12日(2007.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

更には、その他には、図 4 に図示されるように、1 種類の反射型液晶 8 を主体に、電圧変化で反射液晶 8 の方向を変化させ反射液晶基板 1 4 に対する光を集約、拡散の比率を変化させ反射の強度を変化させる。反射光の強度調整には、例えば、2 色性色素物質 1 3 を液晶 8 に混ぜて光の吸収量を制御する。また、これらの強度調整液晶基板を別にし、2 重化、または複重化することも可能である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明に係る酸化被膜を利用した反射型ディスプレイの実施例の説明図である。

【図 2】本発明に係る酸化被膜を利用した反射型ディスプレイの表示方法の一例の説明図である。

【図 3】本発明に係る反射液晶を利用した反射型ディスプレイの表示方法の一例の説明図である。

【図 4】本発明に係る反射光の強度調整液晶の一例の説明図である。

【符号の説明】

- 1 ... 酸化被膜
- 2 ... 金属板
- 3 ... ガラス

- 4 ... 透明電極
- 5 ... 酸化還元剤
- 6 ... 反射板又は反射電極
- 7 ... 非反射液晶
- 8 ... 反射液晶
- 9 ... 反射液晶の位置を表す矢印
- 10 ... 反射液晶の位置を表す矢印
- 11 ... 反射板で反射する光路を表す矢印
- 12 ... 反射液晶で反射する光路を表す矢印
- 13 ... 2色性色素物質
- 14 ... 反射液晶基板

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図4】

